



URBAN SYSTEM

URBAN TIMES

日頃は弊社アーバンタイムスをご愛顧頂き誠に有り難う御座います。皆様は、すでにご存知かと思いますが、「微量PCB廃棄物の分析費・処理費に関する助成金」の期限が平成28年3月31日から平成33年3月31日まで延長となりました。そこで、今回のアーバンタイムスでは、「微量PCB廃棄物の分析費・処理費に関する助成金」について、改めて特集してみたいと思います。

* PCBとは？

PCB は電気機器用の絶縁油、各種工業における加熱並びに冷却用の熱媒体及び感圧複写紙など、様々な用途に利用されてきました。現在は新たな製造が禁止されています。PCB廃棄物は、PCB濃度等により、高濃度PCB廃棄物と低濃度PCB廃棄物に分類されます。高圧トランス・コンデンサ等の高濃度PCB廃棄物は中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）で処理を行っています。低濃度PCB廃棄物については環境大臣が認定する無害化処理認定施設及び都道府県知事等が許可する施設で処理を行っています。

* 判別方法

高濃度PCB廃棄物は、トランス、コンデンサ等の銘版に記載されているメーカー、型式、製造年月等の情報から判別できます。「PCB 使用電気機器の取扱いについて」（通商産業省機械情報産業局電気機器課、平成12年7月）によれば、PCB を含有する絶縁油を使用している電気機器のうち、変圧器及び高圧進相用コンデンサは、昭和28年（1953年）頃から製造が開始され、昭和47年（1972年）に製造中止となったと記載されています。このことから、国内メーカーで昭和27年（1952年）以前及び昭和48年（1973年）以降に製造された変圧器及び高圧進相用コンデンサについては、高濃度PCB を使用したものではないと考えられます。低濃度PCB廃棄物微量PCB 汚染廃電気機器等に封入されている絶縁油のPCB 分析を行い、PCB 汚染の有無を確認して判別します。

* 助成金について（平成33年3月31日まで延長）

中小企業等が都内に保有するトランス等電気機器類の微量PCB分析経費の一部（機器1台あたりの助成金額は、助成対象経費の1/2。1台あたりの助成金額の上限は12,500円です。）が、助成対象となります。また、分析の結果、PCBが検出されなかった場合でも助成対象です。処理費用に関する助成は、助成対象経費（抜き取り費用、運搬費用、処分費用）の合計から同等の微量PCBを含まない廃棄物の処理に要する経費の合計を控除した額の1/2。限度額に関しては、処理方法（①抜き取り処理②保管容器処理③電気機器処理）によって異なるので、公益財団法人 東京都環境公社（03-3649-8541）までお問い合わせください。

参考 東京都環境局ホームページ（<http://www.kankyo.metro.tokyo.jp>）

著者 張ヶ谷

借りたリスト(問い合わせ物件の一部)			* 先月の問い合わせ件数 233件		
用途	敷地	建物	地域	条件	入居日
倉庫(アパレル関係)	—	150坪	江東区内	相場	有れば検討
倉庫(ドッグフード保管)	600坪	500坪	湾岸エリア	坪/5500円	年内
倉庫(冷蔵庫スチーム清掃、作)	100坪	100坪	湾岸エリア・浦安	坪/5200円	年内
倉庫(食品保管)	1200坪	1000坪	千葉から神奈川	相場	年内
倉庫(民間託児所)	100坪	40坪	江東区内	相場	即検討
倉庫(イベント関係)	400坪	400坪	新木場周辺	相場	即検討
店舗(食品ネット販売)	—	30坪前後	清澄白河周辺	月/20万円	有れば即検討
倉庫(工作機械組立)	100坪	70坪	有明周辺	相場	有れば即検討
資材置場(鉄屑)	500~700坪	—	船橋湾岸エリア	相場	有れば即検討
駐車場(大型バス)	500~1000坪	60坪	湾岸浦安周辺	相場	有れば検討
駐車場(運送会社)	500坪	30坪前後	湾岸エリア	相場	有れば検討
駐車場(運送業)	100坪	—	江東区内	相場	有れば即検討
資材置き場(建設資材)	200坪前後	—	江東区内	相場	有れば検討
駐車場(特殊車両)	50坪位	—	江東区内	相場	有れば検討

安全 その12

熊本地方で大きな地震があり、連日TVで中継していました。多くの木造建物が倒壊した生々しい画面を見られたと思います。あれほど多くの住宅が被害にあったのは、大地震が1回だけではなく繰り返し起こったことによるものと思われます。

今回の熊本大地震は日本列島を構成する「中央構造線」の断層が繰り返し動いたことで大きな被害を生じました。通常地震のように、1回の大震災と小さい余震であったならあのような大きな被害を出すことは無かったかもしれません。被害が大きかったのは動いた断層に沿った地域で、大地震が繰り返したとき起こる甚大な被害を見せつけられました。

現在の新耐震による設計では今回のように大きな地震が繰り返し起こることは想定していないので、1回目の震度7の大地震に対して耐えられた建物も、続けて震度7の大地震を受けると耐えられないということになります。今回の地震では木造住宅の被害が目につき、地震で揺れる2階をかるうじて支えた1階の柱が、次の大地震では支えきれなくなって倒壊したケースが多いように思われます。大地震が続けて起こっても1階の柱壁が地震で揺れる2階の荷重を十分支えられるよう検討する必要を感じました。

首都圏の地下には中央構造線のような大きな断層地帯は無いといわれていますが、過去では安政の大地震の震源が荒川の下流であったといわれています。東京直下型地震を想定した対策が必要です。

管理物件のテナント紹介 第133回

株式会社 天真堂 様

株式会社 天真堂は、オリジナル医薬部外品（「薬用化粧品」と「健康薬品」）の研究開発・製造をしております。独自のOEM（委託者ブランド商品の受託製造）システムにより、生産工程をカットすることで小ロットかつ、スピーディーな納品を可能にしました。

商品を作る段階から「売る」ことを念頭に、「売れる」商品作りをお手伝いさせていただきます。また、販路に合わせた商品開発から、販売・広告の企画・制作についても、幅広いメディアにおいて、「売れる」プランをご提案致します。

◆東京都江東区木場2-17-13 第2亀井ビル4F（住居表示）◆平成28年4月入居